

地域別対話会（タウンミーティング）でいただいたご意見と回答					令和6年12月18日　すみれ会	
分類	NO.	テーマ	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
医療・福祉	1	親なき後の生活について（施設不足）	<p>コスモスの現場では、保護者の年齢が60代、70代になってきています。皆さんが一番不安に感じているのは、親亡き後のことです。コスモスの後に行く場所がないのです。</p> <p>印西市は印旛学舎があり、第2作業所という名前は付いていますが、コスモスの利用者が入る余地がありません。このため、私たちは県外、茨城あたりや遠くの空いている施設に行くしかない状況です。その点で不安を感じています。</p> <p>茨城県には最近多くの施設ができていますので、入所は可能ですが、茨城県側としても最初は定員を埋めることに一生懸命です。誰でもいいから来てほしいという状態で、配慮はしてくれるものの、何か問題があるとして行ってほしいという対応が見受けられます。</p> <p>そのため、市で何かもう少しできることがないかと考えています。</p> <p>社協としても、そこまでは対応してくれないと思います。相談すれば探してくれるかもしれませんが、「こういうところがありますから行ってみませんか」というおすすめはありません。</p>	<p>許認可は県だと思いますし、事業者自体は民間になるんですけども、市としても対応として何かできないのかなというのは考えています。</p> <p>必要としている方々の数と施設の数とのギャップが市として認識できているのかというのがまずあって、その上で足りないところを民間の方々に入っていただきやすいような、環境づくりを進めていかなければならないと考えています。</p> <p>福祉の分野だけでなく、病院等もまさにそうです。医療機関も印西市は足りていないという声があります。専門医っていうんですかね、例えば整形外科がないとか。民間なので勝手にやってくださいっていうのは簡単ですが、やはり市民一人一人の方々の立場に立った時に足りていないんだったら、市としても動かなきゃいけないというのは、今お話を伺いながら感じたところです。</p>	確かに入所する施設が少ないっていうご意見は届いています。現在、施設を作るということは、民間を中心に進めていただいています。グループホームも増えてきていると感じているところですので、施設を作りたいという事業所があれば、補助金等を活用していただくなど支援していきたいと考えています。	障がい福祉課
	2	親なき後の生活について（施設不足）	<p>年を取ると車を運転できなくなるなどの問題が出てくるため、会いたいときに会えることが重要です。</p> <p>受け入れ側でも送迎サービスを提供してくれますが、もっと近い場所に入所施設やグループホームが増えればいいと考えています。</p>			障がい福祉課
	3	親なき後の生活について（施設不足）	<p>親亡き後の子の行き先が一番心配です。コロナ禍が明けた後、様々なグループホームを体験させていただきましたが、これだという所がありませんでした。</p> <p>民間で古い住宅をリノベーションしたグループホームがいくつかあり、障がい者向けの下宿のようなビジネスモデルとなっています。検索すると、アルバイト募集中の記事が出てきますが、福祉の勉強をしているのか、アルバイトで良いのかと疑問に思います。「経験なくても大丈夫です」という言葉も見かけますが、その建物について調べるとまず募集情報が出てくるので、腑に落ちないところがあります。</p> <p>福祉作業所の職員の方も一生懸命やっていただいています、終の住処のことを心配すると、どうしてもそのような所になってしまうのかという思いがあります。</p> <p>民間と言いますが、世界の印西になるのですから、世界に通用するような福祉が求められます。</p> <p>福祉作業所のような感じで、私たちも入りやすいグループホームを市が建てるくらいの気持ちで取り組んでほしいと思っています。</p>			障がい福祉課

地域別対話会（タウンミーティング）でいただいたご意見と回答					令和6年12月18日　すみれ会	
分類	NO.	テーマ	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
医療・福祉	4	施設の整備、許可、支援について	グループホームなどの施設を調べると、営利目的で合同会社を設立して運営しているところが多いのです。利益を上げることが目的にしているようで、勧誘があったりもします。その点の見極めについて、福祉課の方で関与していただけないのでしょうか。	行政として当然、公平性は求められるんですけども、極端なことを言うと一本釣りしているような自治体さんも分野によってあると思います。来てほしいというところには、こちらから声をかけに行くというところですよ。確かに予算の話もありますが、行政が質まである程度ちゃんと目を配っているというだけでも、事業所側も進出はしやすくなるというところはあると考えています。単に民間に任せるということではない、という伝え方は考えていかなければならないとお話を聞いていて感じたところです。	同様の声も届いておりますので、市としても何か支援したいとは考えておりますが、民間事業所が整備を進めている中で、市が介入することが難しいところもあります。整備に当たりましては、民間事業所が整備しやすいような仕組み等を検討していきたいと考えています。	障がい福祉課
	5	施設の整備、許可、支援について	民間に任せると利益などの問題が生じるため、その点をどのように監督していただけるかが、公的な機関として重要だと思います。補助金が出るから施設を作ったものの、うまく運営できずに止めるということになると、障がい者としては非常に不安です。 そのため、民間に依頼するにあたっては、監督や支援をしっかり行い、適切に運営されるようにしていただきたいです。	いい悪いではないと思いますが、しっかりと運営していただける方に来ていただけるような仕組みづくりは、他の自治体を見ながら勉強していきたいと考えています。限られた人員の中で動いている職員の負担も考えながら一緒に考えていきたいです。 これは市全体の話で、どの分野もですが、民は民、官は官だとなかなか上手くいかないと思っています。ある程度は、民間や市民の方の中に市が入っていくというところも必要なというところはと思っています。まだまだ一歩ずつですが、思いはしっかりと受け止めました。		
医療・福祉	6	親なき後の生活への準備について	指定難病になったため、グループホームと言われても、病院にも通わなければならず、不安に思います。 親自身が子よりも早く亡くなる可能性が高いと思います。親亡き後、子の全てを面倒見てもらえるのか、とても心配です。 その前に準備しなければならないことは理解しているのですが、病気もあってどうしようと悩むばかりです。どこに相談すれば良いのか、もっとすっきりと解決できないかと思ってます。 子どもは生涯病院に通い続け、薬を飲み続けなければ生きていけません。そういう点が非常に心配です。		親亡き後の問題対策の一助として成年後見制度があります。成年後見制度とは、認知症、知的障害、精神障害などで、判断能力が十分でない方の権利を守るために、成年後見人等が本人に代わって財産を管理したり、福祉サービスの契約を締結したりすることによって、本人を支援する制度です。成年後見人等は、ご本人の生活・医療・介護・福祉など、本人の身の回りの事柄にも目を配りながら本人を支援します。具体的には、本人の不動産や預貯金などの財産を管理したり、本人の希望や体の状態、生活の様子を考慮して、必要な福祉サービスや医療が受けられるよう、福祉サービスの契約の締結や医療費の支払いなどを行ったりします（ただし、食事の世話や実際の介護などは、成年後見人等の職務ではありません）。このような制度もございますので、ぜひご利用ください。	障がい福祉課

地域別対話会（タウンミーティング）でいただいたご意見と回答					令和6年12月18日　すみれ会	
分類	NO.	テーマ	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
医療・福祉	7	親なき後の生活への支援について	<p>安心してこの印西市で最期を迎える状態にしてほしいです。皆さん、ここで亡くなるときに「印西で良かった、任せておける」と思いながら旅立ちたいのです。世界モデルとして、この印西市はますます良くなっていると感じており、本当に楽しみにしています。</p> <p>ニュータウン側は商業施設が賑わっており、若いファミリーも増え、人口も増えているように感じます。しかし、大森や木下側は少し寂しい感じもします。朝の大森交差点は混んでいます、この車はどこへ行くのだろう」と感じることもあります。</p> <p>それでも、里山の良さを残しつつ、印西市という町はとても良いと思います。この魅力を皆にPRし、「印西においでよ、福祉もすごいよ」と友達にも言えるような状況が望ましいです。</p>	<p>お子さま方の未来を案じるお気持ちは痛いほど分かります。私としてもできることは徹底してやっていく所存です。その中で私が理想としているのは、民間や行政の区別なく、みんなで良い街をつくっていくことです。そして、良い街をつくりたいと思っている方々や、皆さんのお子さん方のための場所をつくりたいと思っている方々が、市役所内外問わずいらっしやると思います。そういう方々としっかりと連携し、支えられることが大切だと思っています。</p> <p>まちづくりの過程で、どうしても人の顔が見えなくなる瞬間があります。民間企業や行政の組織が関わる中で、一人ひとりが見えなくなる循環が起きてしまいます。印西市にどんな方々がいて、どんな思いを持っているのかを見つめ直し、その方々にどう支えてもらったら皆さんにとって安心できる場所をつくっていけるのかを考える必要があります。</p>	—	障がい福祉課
	8	親なき後の生活への支援について	兄弟もいますが、住んでいる場所が離れているため、すぐに対応することが難しく、それぞれ生活もあります。できることは自分たちで何とかしていくつもりですが、行政の方に細かいところまで対応していただけると、皆さんにとっても良いのではないかと思います。	<p>それが最近言われる「官民連携」というものです。町を良くしたいと思っている方々に光が当たるような公民連携をしなければなりません。正直、この分野については私もまだ答えを持ち合わせていません。</p> <p>皆さんのお子さんや皆さん自身に寄り添えるようなまちを創っていけるように努力してまいります。</p>	—	障がい福祉課
	9	行政の福祉サービスについて	<p>私が市役所に時々相談に行くと、「民間は増えていませんね」と言われることがあります。「民間に任せるものは民間に」といった言葉がよくニュースで聞かれますが、市で何かできるのではないかと考えています。</p> <p>松戸市では「すぐやる課」という部署を設置し、市民の困りごとを聞いてくれる役所の方がいます。印西市も少しでも障がい者福祉に前向きになってほしいと思います。これは批判ではなく、できるのであれば非常にありがたいです。</p> <p>忙しいのは理解していますが、民間に任せる部分が多くなりがちです。しかし、民間でやっていることも、市として確認し、対応しているという姿勢があっても良いと思います。</p>	<p>また、前に開催された福祉まつりの時にも、コスモスさんに寄らせていただきありがとうございました。現時点では暫定になりますが、再来年本笠に行かれる際には、私も当然ながら伺わせていただきますし、皆さんと対話を深めながらまちづくりを進めてまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願いします。</p>	—	障がい福祉課
	10	行政の福祉サービスについて	<p>子どもは、変化に弱いので今回の一時移転の話も本人にはまだしていません。タイミングを見てと考えています。</p> <p>今はコスモスバスで作業所まで通っていますが、できれば一人で行けるようにしたいと思っています。</p> <p>市も福祉の面は良くなっていますが、障がい者のためだけでなく、障害のある方や弱い人に対しても優しい対応をお願いしたいです。優しいという言葉が適切かどうかは分かりませんが、まずはそう考えていただければ、一般の方に対しても行政が安心して任せられるものになると思います。</p>		—	障がい福祉課

地域別対話会（タウンミーティング）でいただいたご意見と回答					令和6年12月18日　すみれ会	
分類	NO.	テーマ	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
医療・福祉	11	施設の受け入れについて	<p>子どもは指定難病だと診断され、一生薬を飲み続けなければならないことが分かりました。</p> <p>そのような中で、将来を考えて、いろいろな場所を訪ねたのですが、障がいの程度がとても重いため、市内のグループホームでも1週間ほどでお断りされました。障がいの程度が重すぎてスタッフが確保できないということです。うちの子の場合、夜にももう一人スタッフが必要です。現状ではスタッフが確保できないため、行き場が無くなった状況です。恐らく他の場所でも同じでしょう。</p> <p>障がいの程度が重いと行く場所がなく、見つかってても国や県の基準に照らし合わせるとスタッフの問題で断念せざるを得ないところが出てきます。これからどうしようかと悩んでいます。作業所には楽しく通わせていただいています。結局、どこも受け入れてくれない子どもたちの行き場になっています。</p> <p>印西市立のままで応援してくださることはとてもありがたいです。これからも同じように市からも福祉作業所へ頻繁に来ていただき、子どもたちの名前も一人一人覚えていただけるような関係を続けていただきたいと思います。市長さんもぜひコスモスへ来て見ていただければありがたいです。</p>		—	障がい福祉課
医療・福祉	12	施設の整備、許可、支援について	<p>グループホームなど、既存の施設で手を広げたいと志はあっても、資金面で断念することや、人が集まらない、お金を払えないという問題があります。</p> <p>ある方が施設を立ち上げたいと考え、印西市を検討しましたが、土地代が高く、結局他の場所に決めました。とても残念に思います。印西でやりたい、事業を広げたいという話があっても、断念せざるを得ない状況は非常に残念です。もう少し何とかできないものかと思っています。</p>	<p>調整区域はどうなんでしょうか。調整区域へのグループホーム等々の整備に制約はないところですよ。</p> <p>今、ニュータウン地域は場所としては埋まっちゃってますよね。</p> <p>私としては自然豊かな地域に作るのも悪くないんじゃないかなと思います。私は自然の多い地域に住んでいる人なので、活用してほしいと思うことはあります。しかしながら、アクセス的には課題があるかことも認識しているところです。</p>	市では、国及び県の施設整備への補助金を活用して施設整備を行う事業者に対して、補助金を交付しており、これにより施設整備への支援を行っています。	障がい福祉課
医療・福祉	13	公共施設の修繕について	<p>福祉センターの建物の修繕をしていただけることになりました。</p> <p>子どもが通っている建物は、入所したときは周りに何も無い田園でしたが、17年通う間に建物が増え続けています。それに関わらず、作業所の建物は当時のままで、毎回アンケートで衛生や修繕について親としての願いを書いてきました。この度、ようやく修繕をいただけることを感謝しています。</p> <p>ただ、きれいに修繕するだけでなく、いっそのこと建て替えてほしいというのが、親の願いです。また、Bグループ、Cグループの施設も、雨が降ったら濡れてしまいそうな状態なので、きれいになることを望んでいます。</p>	—	福祉作業所コスモスの建物につきましては、今回の保全改修工事では、建て替えは行いませんが、内装全般を改修する予定です。	社会福祉課 障がい福祉課
医療・福祉	14	施情報設の周知方法について	<p>おすすめできる事業所があれば、私たちに周知していただけると助かります。「今度こういうところがありましたよ」などの情報を提供してもらえると非常にありがたいです。なかなか知る機会がないので。</p> <p>訪問した際に聞いた時に、初めて知る情報が多く、その時には既に埋まってしまうことがよくあります。周知方法を考えていただけると助かります。</p>	対応を確認します。	情報が各事業所より障がい福祉課に届いた際には、福祉作業所コスモスに配布しまして、保護者の方が必要とする情報が入手できるよう努めてまいります。また市内にも新しくできたグループホーム等もございますので、担当の計画相談員やいんば障害者相談センターにご相談ください。	障がい福祉課

地域別対話会（タウンミーティング）でいただいたご意見と回答					令和6年12月18日　すみれ会	
分類	NO.	テーマ	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
医療・福祉	15	工賃について	<p>工賃は生産活動の収入であり、それを分散して皆で分け合うのですが、ひと月で3千円、1日あたり100円です。ジュースやペットボトル、パンを買うと、もう終わりです。</p> <p>障がい者年金もありますが、それは生活費として必要なお金です。そのため、子ども自身が自由に使えるお金が少ないのが現状です。国が決めた金額かどうか分かりませんが、1日100円というのは少なすぎます。</p> <p>印西市では生産性の上がる仕事を提供し、障がい者の子供たちが働いて2万や3万といった給料をもらえるような職場を作ってほしいと願っています。例えば、チョークを作る会社やワインを作る会社などがあります。このような産業が発展し、印西市の障がい者たちが作ったものを世界に売ることができるとすばらしいと思います。</p> <p>障がい者の親たちはこうした取り組みに全面的に協力すると思います。これから先、子供たちを残して親が老いていく中で、協力できる体制を作っていただければ、皆で協力していけると思います。</p>	工賃というのは、どのように決まっているのでしょうか。国の基準等はあるのでしょうか。この辺は勉強してまいります。	工賃は、国の基準等は特になく、指定管理者の社会福祉協議会で決めているものです。基本的には、得られた収益から、材料費などを差し引いた金額を、社会福祉協議会で定めた基準で、利用者の方に支給していると伺っております。 今後、配分方法や単価の改定などについて、指定管理者と協議したいと考えます。	障がい福祉課
	16	工賃について	<p>工賃は3千円というところが多くて、受注してきた仕事でどれだけ収入を得るか、その得た収入で割り算をするという考えになります。そして、その働いた日数で出るというシステムです。その生産活動費をコスモス内で増やさなきゃいけないと思っています。</p> <p>やはりお金になるような仕事とか、市も一緒に協力して作り出していただければ嬉しいなと思います。現在は、スタッフさんが、いろいろなところに声をかけて仕事をゲットしてきます。例えば、近くの歯医者さんの花壇を掃除に行ったり、段ボールを集めてイオンに持って行ったり、そういうので収入を得ています。</p>			障がい福祉課
	17	工賃について	<p>例えば都内の自治体では、美術大学と自治体がコラボして、子供たちが描く絵を美術大学の人と一つの作品として作り、それをお土産にして売るなどの取り組みがあります。</p> <p>地方でも、例えばお酒のラベルの柄にするなど、市で売り出すものを利用して工賃が発生するような取り組みが見られます。そういった事例を見たときに、うちの息子も絵を描くのが好きなので、そういうことで役立てたらとても良いなと思いました。</p> <p>何か得意なことを生かすことができないかと考えています。</p>			障がい福祉課
医療・福祉	18	突発的な対応について	<p>突然用事が入って預けたいと思っても、時間がないのにそこまで本人を連れて行かなきゃならない。向こうから迎えに来てもらえないなど、突発的な時に利用したいのに、不便というか融通が利かないのが現状です。</p> <p>そのような突発的な事態に対する対処をしていただけるとありがたいと思います。担当課課の方もいろいろと検討していただき、窓口でも親切に対応していただいておりますが、突然の時の対応についてもお願いしたいと思います。</p>	—	突発的な事態に対応するサービスとしましては、短期入所事業、日中一時支援事業、心身障害者一時介護料助成事業などがございます。送迎サービスを行っている事業者もありますので、各事業者にお問い合わせください。なお、短期入所事業、日中一時支援事業につきましては、利用の申請が必要となりますので事前にお手続きをお願いいたします。	障がい福祉課

地域別対話会（タウンミーティング）でいただいたご意見と回答				令和6年12月18日　すみれ会		
分類	NO.	テーマ	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
インフラ・防災・防犯	19	交通手段について	今回、移転先として保健センターの案が出て一生懸命考えてくださったことには感謝していますが、バスの便がどのくらいあるのか、安全面はどうなのか、駅から歩いて行ける場所なのか、やはり考えてしまします。	バスは現在のダイヤの中でということになると思いますので、送迎のサービスも使っていただくという形になると考えています。	現在は、自分で通える方はふれあいバス等を利用して通っていただいたり、通うことが難しい方は作業所の職員さんに回ってもら送迎サービスを利用して、皆さんに来ていただいています。	障がい福祉課 交通政策課
			親亡き後のことをいつも考えているため、自立を考えながらも、できるだけ子どもが一人で何かできるように、一人で帰ってこれるように、一人でご飯を食べれるように、少しずつ親として焦る気持ちを抱えながら応援しています。	バスの運行は課題もたくさんあります。ふれあいバスは現在、民間の事業者さんに委託をしている形になっていて、その事業者さんはニュータウンの方で路線バスを運転している方々です。	今後、本埜保健センターに移った際にも、公共交通機関で通える方については利用していただき、場所が変わって難しいという場合には、ある地点まで集まっていただいて、そこから送迎するような形で支援していきたいと考えています。	
			現在、作業所の方で見守っていただき、工賃には多少不満がありますが、感謝しています。しかし、場所を変えと言われたときに、安全で帰れるのか、バスの便は増やせるのかなどを考えてしまい、簡単に「はい」と言えない自分がいます。	運転手の不足などもあり、交通政策課でかなり交渉はしてくれているんですけども、増便等は難しいところもあります。令和7年の後半に一部ルートは見直してまいりますけれども、本埜のルートは来年は変更は予定していないため、申し訳ないなと思っています。		